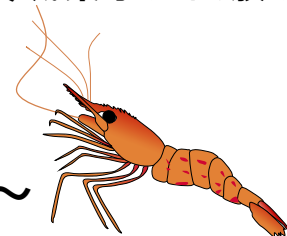


<プレスリリース>

国内初！ボタンエビの養殖技術開発に成功！

～ 2025年8月27日に技術開発成果を発表 ～



茨城県水産試験場では、その希少性から市場において高い商品性が見込まれる、深海性エビの「ブドウエビ」と「ボタンエビ」の養殖技術開発に2021年から取り組んでいます。

この度、当场では、ブドウエビよりも早く成長するボタンエビについて、卵から養殖用種苗を生産し、出荷サイズ（体長10cm）まで養殖する技術開発に国内で初めて成功しました。この成果につきましては2025年8月27日に水産試験場を会場に開催した成果発表会で報告するとともに、8月29日発行の当场広報紙「水産の窓（7－No. 13）」でも公表しております。

水産試験場では、天然に勝るとも劣らない養殖エビを皆さまにお届けできるよう、引き続き、開発した技術の実証や生産コスト削減に向けた研究に取り組んでまいります。

◆ボタンエビとは ～高級深海エビの1種～

タラバエビ科の深海性のエビで、体側に美しい赤い模様をもちます。

福島以南～鹿児島までの太平洋側に分布し、本県沖では主に水深200m以深に生息します。

本県では主に9～12月に漁獲されますが、量が少なく、希少価値が高いため、高値で取引されます。

身は甘くて食感よく、主に料亭や高級寿司店で利用されます。



ボタンエビ養殖技術開発成果発表会<概要>

日 時：2025年8月27日（水）

場 所：茨城県水産試験場（ひたちなか市平磯町）

発表者：茨城県水産試験場 定着性資源部 研究担当職員

内 容：1）ボタンエビ養殖技術概要説明

① 養殖種苗の生産技術

- ・天然抱卵エビ採集・運搬方法の確立
- ・天然抱卵エビ養成方法の確立
- ・種苗育成技術の確立

② 養殖技術

- ・種苗の最適育成環境の探索・特定
- ・半閉鎖式循環養殖システム(陸上養殖)の適用

2）ボタンエビの展示

3）養殖技術開発を行った施設の一部公開



県水産試験場調査船いばらき丸による
天然抱卵エビ採集の様子



水産試験場で養殖したボタンエビ

<本リリースについてのお問い合わせ>

茨城県水産試験場定着性資源部（担当：多賀、水谷）

電話：029-262-4158、メール：suishi@pref.ibaraki.lg.jp